ノットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

下都賀地区生涯学習研究会機関紙　第51号

ネットワーク

平成３１年３月
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内
TEL　0282-23-3422
FAX　0282-23-3502
E-mail
shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

今年度で本会を御勇退になる小山市立間々田小学校　福富　　靖　校長先生から、会員の皆さんに向けたメッセージを寄稿いただきました。諸先輩方からのバトンを大切に引き継ぎながら、下都賀地区の生涯学習・社会教育の一層の推進に向けて、今後も会員相互のネットワークを築いていければ幸いです。

ワークショップの時代

下都賀地区生涯学習研究会　会長
小山市立間々田小学校　校長　　福富　　靖

平成３１年３月３１日をもって、定年退職となり、本会からも退会することとなります。一年間の会長職も、会員各位や事務局の皆様のおかげで、無事に退任することができます。大変お世話になりました。

平成１０年、下都賀教育事務所に同和教育担当の社会教育主事として勤務し始めた私が一番力を入れたのは、「ワークショップ」という新しい学習方法を広めることでした。「聞くだけの一方通行の学習では、人権感覚は磨かれない。人権意識は育たない。参加体験型の学習でこそ、それらは培われる」と信じ、社会教育の現場でワークショップを展開し、小教研や中教研でその手法を教員に広めていきました。主体的に対話しながら、何かに気づき、深く考え、行動化を目指していく学習手法。あれ？　どこかで聞いたような…。

定年退職を前に、何やら疼くのです。２０年前に仲間たちと考えた、本格的な人権学習ワークショップを、久しぶりにファシリテートしてみたいな…、って。

リレーとなりの社教主事 45

「県民の笑顔のために」

（公財）とちぎ未来づくり財団
とちぎ海浜自然の家　指導主事　　槇本　晃輔

開所２６年目。臨海自然教室をはじめ、多くの社会教育関係団体や家族などに利用してもらい、自然体験を中心とした体験活動や人間関係づくりの機会を提供しています。

本所では、メロン狩りや初日の出鑑賞などを行う宿泊イベントを、年１１回実施しています。過日、メロン狩りに参加した７０代の女性が、「生まれて初めての経験で、切るときに手が震えたよ。」と大満足。マグロの解体ショーやアンコウの吊し切りのイベントでは、講師の魚屋さんに小学生からの質問が殺到。科学工作遊びのイベントでは、「何で？」「どうして？」と言っていた親子が、科学館職員の説明に、「なるほど！」と腑に落ちる。

よりよい学びができた時は、大人も子どもも最高の笑顔。これからも、広大な海と豊富な地域人材の強みを生かし、県民の笑顔のために学びの場を提供していきます。

また、臨海自然教室でも、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習として、教科等に関連付けた体験活動が多数展開できるよう、職員で力を尽くします。

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

シリーズ事例から学ぶ 54

「地域との連携を通して」

壬生町立羽生田小学校　教頭　　安武　裕一

本校は児童数２９名の小規模校である。小規模ならではの教育を生かし、全児童を全職員の目できめ細かく見取ることができるのが最大の特色です。その特色を生かすために欠かせないのが、地域との連携を通した教育活動です。私は本校赴任１年目ですが、運動会、授業参観、廃品回収など学校行事への保護者の参加率はほぼ 100%であることに驚きました。地域の学校に対する理解はもちろん、地域との協力体制の素晴らしさを日々肌で感じています。特に、ＮＰＯ法人「はにしの里協議会」との連携で行う田植え、稲刈り、生きもの調査などの体験活動は、豊かな自然環境を生かした貴重な体験となっています。そして、児童会が企画・運営し、高齢者とふれ合う「ふれ合い祭り」や日頃の感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」では、子どもたちと地域の方が談笑しながら交流できる羽生田小ならではの心温まるひとときとなっています。今後も小規模ならではの特色を生かし、地域との関わりを最大限に生かした教育活動を推進していきたいと思います。

雑感

「社会教育主事有資格者として」

栃木県立小山西高等学校　教諭　　原　　昌作

平成２４年、茨城大学にて、社会教育主事講習を受講した。平成 26 年、栃木工業高校で地域連携教員になり、テクノボランティアや出前授業などに携わった。平成 29 年、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターに、社会教育特別調査員として 1 年間、内地留学をした。今年度は、水戸と宇都宮でその研究成果を発表した。また、小山西高校で、1 学年を対象に「キャリアクションプロジェクト」として、大学や地元企業、近隣の小学校などと連携した分野別学習を行った。

「人は、多くの人との出会いの中で、様々な経験をして、成長していく。」

社会教育主事有資格者となったことで、たくさんの経験をすることができた。そこで多くの人に様々なことを学び、成長することができた。教えてくれた人々に感謝しながら、社会教育主事有資格者として、今後も「よりよい地域学校協働活動」を推進していきたいと思う。

報　告

生涯学習研究会第２回研修会（ふれあい学習ネットワーク）

２月５日（火）、下野市国分寺公民館を会場に「下都賀地区ふれあい学習ネットワーク」を実施しました。前半は、尚絅（しょうけい）学院大学の 松田 道雄 先生を講師に招き、「地域学校協働活動を『地域づくり』『まちづくり』につなげていくために」という演題で御講話いただきました。後半は、下野市家庭教育支援チーム「ひばり」の 水田氏、大古氏、西本氏にファシリテーターとして御協力いただき、「地域元気プログラム」を活用した演習を行いました。地域全体であたたかなネットワークを構築する大切さを、改めて考えることができた機会となりました。

編集後記

まもなく「平成」の時代が幕を閉じようとしています。会員の皆様の多くは、昭和から平成にかけ、時代をまたいで生きてこられたわけですが、どのような印象をおもちでしょうか。いずれにせよ、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。これから迎える新しい時代、さらなる社会の変化に対応すべく、共に手を取り合っていきたいものです。というわけで、新元号は「共栄」でいかがでしょうか!?（S）